

# 「歩きスマホ」でぶつかる被害増加！！

～ 「歩きスマホ」したことがある約49%、約88%が「危険」を意識～



今年10月、東京都のJR駅で、出勤途中の30歳代の男性がスマホを見ながら階段を上っていたところ、40歳代の男性とぶつかり、「歩きながらスマホをいじっているんじゃない！」などと因縁を付けられ、口論になるトラブルになり、その後30歳代の男性が40歳代の男性から体当たりされてホームから線路内に転落するといった事案が発生しました。

スマホやタブレット端末などの技術進歩で、情報を素早く手軽に入手できる便利な時代になり、メールやLINE、ツイッターで仲間や知人と会話したり、地図で現在地や目的地を検索したり、時刻表などで乗り換えの路線や到着時間を調べたり、最新の交通情報をチェックしたりすれば、無駄が少なく時間を有効に活用できます。

しかし、「歩きスマホ」は周囲が見えなくなり、自分の身を危険にさらしかねないほか、他人も不幸な事故やトラブルに巻き込み、人生を大きく狂わせる危険もはらんでいます。

東京消防庁が満18歳以上の男女400人を対象にアンケート調査を実施したところ、「歩きスマホ」をしたことがあると回答したのは全体の約49%、「歩きスマホ」は危険だと思いと回答したのは約88%に達しました。



「危ない行為」と認識しながらも、ついつい「歩きスマホ」をしてしまうという実態があります。

スマホを操作・閲覧したり、通話したりする際は、必ず立ち止まって安全な場所であるなど、周囲に迷惑がかからないよう、マナーを徹底するようにしましょう。

【本情報は、11月13日付け日本経済新聞記事を引用しています。】

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 小林

電話：0776-20-0296（直通）メール：s-kobayashi-7g@pref.fukui.lg.jp

「家庭の日」推進テーマ11月「働く人びとに感謝し、自分でできる仕事や奉仕を受け持とう」

「青少年育成の日」推進テーマ11月「仲間をふやし、思いやりのある心を育てよう」